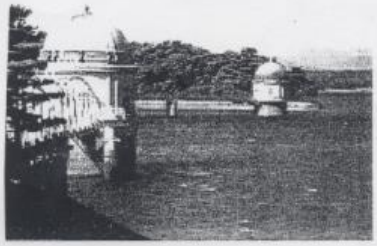
加賀にての２次会



第６回　３４歩く会

かたくりの湯とトンネルウオーク

日時；平成２３年５月１４日(土)
集合；多摩都市モノレールの上北台駅(１０時集合)

行程；

上北台駅――芋窪――鹿島台(ト)――①山口観音(ト)→（天候等によっては①に行かず②モーテル街）―
10:00　　10:20　　10:45　11:00

―遊歩道――カブト橋――かたくりの湯，郷土博物館(ト・昼食)―――トンネルウオーク――
11:45　　12:00　12:45　　12:50　13:10

――真福寺(ト)――――製茶工場―――空堀川―――上北台駅(ト)(一時解散)――南街（加賀で２次会）
13:30　　13:50　14:15　　15:00　　16:00

(ト)はトイレ

多摩都市モノレールの上北台駅に集合し、芋窪部落を通り、鹿島台に登ります。途中、天気が良ければ丹沢の山や富士山がよく見えます。　鹿島台からは我らが村山貯水池の上堰堤を通り、山口観音に立ち寄ります（トイレあり）。

山口観音からは、玉湖神社、泥富士を観ながらカブト橋まで遊歩道を歩きます。遊歩道では、新緑の中、小鳥達のさえずりがＢＧＭとして聞こえてきます。

なお、天候や時間の関係で、場合によっては鹿島台から山口観音に行かずに、モーテル街の遊歩道を通り、カブト橋まで歩きます。

カブト橋からは坂道を下ると、「かたくりの湯」に到着です。「かたくりの湯」では昼食をとり、希望者は入湯し、あるいは武蔵村山郷土博物館に寄ったり、都立野山北公園を散策します。野山北公園にはアスレチックもあります。

昼食後、かたくりの湯から少し歩くと、トンネルウオークが始まります。このトンネルは、村山貯水池を作るために多摩川からトロッコで資材を運んだ軌道の跡で、トンネルを３つほど歩きます。途中には「でいだらぼっちの井戸」や「番太池」や「赤坂池」などのため池があります。

真福寺は奈良時代に創建された古刹で、趣のある立派な山門があります。真福寺から坂を下り、青梅街道を横切って製茶工場に寄ります。５月中旬はお茶刈り、製茶の真っ最中であり、［狭山茶］の製造工程が見学できると思います。出来たての香り高い緑色の［狭山茶］の新茶をいただけるかも・・・

そこからは空堀川に沿って歩き、再び上北台駅に戻り、一時解散します。
解散後、南街の「加賀」で２次会を開催いたしましょう。

村山温泉
かたくりの湯
武蔵村山市本町5－29－1
TEL 042-520-1026

赤坂トンネル

第6回　３４歩く会
かたくりの湯とトンネルウオーク
日時；平成２３年5月１４日(土)
集合；多摩都市モノレールの上北台駅(１０時集合)
山口観音
かたくりの湯
トンネル
茶
集合・解散
武蔵村山市
東大和市
所沢市
行程；
上北台駅――芋窪――鹿島台(ト)――①山口観音(ト)――（天候等によっては①に行かず②モーテル街）
10:00　10:20　10:45　11:00
―遊歩道――カブト橋――かたくりの湯(ト・昼食)――（野山北公園）――トンネルウオーク――
11:45　12:00　12:45　12:50　13:10
――真福寺――製茶工場――空堀川――上北台駅(ト)――南街（加賀で２次会）
13:30　13:50　14:15　15:00　16:00
(ト)はトイレ

第6回　３４歩く会

「かたくりの湯とトンネルウオーク」; 歩行記

２０１１年５月１４日記　川鍋　正義

連休明けは５月とは思えないような寒い雨の日が続いたが、今日は五月晴れの快晴だ。

３月 11 日の東日本大震災で自粛ムードが高まっており、日本経済が落ち込んでいるが、積極的に行動することは日本の活性化のためにもなるのではないか。

今日の集合場所は多摩モノレールの上北台駅。１０時に集合・出発だが、９時１５分には次々に元気な仲間が集合し始めた。チョコバスで来た人もいる。１０時には２５名が集合した。

大貫さんの指導で出発前の準備体操ストレッチをやり、今日も伊澤さんが用意してくださった「３４歩く会」の横断幕広げ、全員で集合写真を撮り、いざ出発！(10:05)

上北台駅から五月晴れの真っ青な空の下、新緑に染まる狭山丘陵を目指して新芋窪街道を進む。

若緑色の茶摘み間近の茶畑の脇を通り、「向台老人ホーム」へ。この老人ホームは芸術家が協力し意匠を凝らして造った建物で、高級ホテルか城のようだ。我々もいつかお世話になるかも・・・

奈良橋川を渡り、「はやし堂」を右に見て、青梅街道に出る。青梅街道を横切ると、いよいよ狭山丘陵への登り坂だ。この鹿島台への道を上って行くと、左手から異様な臭いが漂ってくる。東京都の土地を借りた農業体験者が、昨年の秋に集めた落ち葉を、米ぬかなどと混ぜて作った堆肥を攪拌しているようだ。良く腐植して立派な堆肥が出来ているようだ。

この畑は、富士山や丹沢や奥多摩の山々がよく見える場所にあり、有機農業をしているようだ。作業をしている人達と談笑する。この付近は、鹿島台遺跡が見つかったところだ。

そこからは「かしま子供広場」を経て、多摩湖遊歩道の鹿嶋神社奥の院に到着(10:40)。ここで一休みし、トイレ休憩。遊歩道には歩いている人や走っている人も多く、自転車も走っている。

休憩の後、多摩湖の中堰堤に出る。堰堤下の芝生の上を歩くと、弾力があり、何とも気持ちがよい。西武ドームの白い屋根や西武園の観覧車も見える。ここで全員の集合写真を撮る。

湖を渡る爽やかな風を受けて芝生の上を歩き、階段を登ると、慶生門が見えてくる。慶生門は、今は多摩湖の湖底になっているところにあった寺「慶生院」の山門である。「慶生院」が芋窪に移転した後に、寺院の象徴としての山門をこの地に移築したものだ。茅葺きの趣のある慶生門をくぐり，

っての「おとぎ電車」の線路跡をしばらく行くと、右下に西武ドームが見え、その向こうには所沢のマンション群も見える。ここを下ると「山口観音」だ。(11:05)

「山口観音」は真言宗の寺で、当地きっての古刹だ。今日は寺の周辺にたくさんの車が駐車しているが、「西武ドーム」でバラ展を開催しているからであろう。本堂に上りお祈りをした後に、思い思いのお祈りを込めて本堂の周り設置されている円筒形のベルを回しながら本堂を一周する。本堂の裏にはたくさんの水子地蔵が階段状に並んでおり、壮観だ。

休憩の後、本堂の裏手にある昇天する龍のモニュメントに沿って急な階段を上ると、鮮やかな朱色の五重塔がそびえ立っている。五重塔の下には四十八箇所巡りの洞窟があり、暗い洞窟の中を仏たちを拝みながら巡り、生還する。(11:15)

五重塔からは多摩湖の周囲道路に沿った遊歩道を進む。玉湖神社を左に見て進むと、やがて左手に「泥富士」が見えてくる。この「泥富士」に登ると富士山や奥多摩の山々と、多摩湖と狭山湖の両方が見えるのだが、今は頂上付近が崩壊し危険なために登山禁止になっているので、先に進む。

五月晴れのもと、時々木漏れ日が射す新緑の中を、爽やかな風に吹かれながらのウオーキングは極めて快適で、仲間達のおしゃべりも尽きない。時々ウグイスが我々のウオーキングを応援するかのように間近で大きな声で鳴いている。他のいろいろな鳥たちの声も伴奏をしてくれる。

おしゃべりをしながら歩くうちに「かぶと橋」に到着。(12:00)

ここで休憩となったが、皆さん、お腹が空いてきたため、早く昼食にしたいと、休憩もそこそこに出発。「かぶと橋」を渡り、木が鬱蒼とした山道を下り、やがて「かたくりの湯」に到着（１２：１０）。ここで1時まで昼食、休憩。

この周辺には「かたくりの湯」、野山北公園、「歴史民俗資料館」などがある。野山北公園の山を登りアスレチックの近くでお弁当を広げる。明るい木漏れ日の下でいただくお弁当の美味しいこと。Mさんからはサヤエンドウや筍の煮つけのお裾分けをいただく。味付けが素晴らしい！

13時に集合出発だが、その前に「歴史民俗資料館」を覗くと、武蔵村山の古代からの歴史や、農村の暮らしなどが所狭しと展示されている。多摩湖を建設した時の工事の様子や、多摩川から資材を運んだ軽便鉄道などの資料もある。

「歴史民俗資料館」前に集合して１３時１０分に出発。気持ちの良い道を進むと、やがて左手に「横田トンネル」の入口が見えてくる。このトンネルは多摩湖を建設した時に多摩川から資材を運んだ軽便鉄道が走っていたところで、この下には羽村から多摩湖への水道管が通っている。

トンネルは以前は照明も少なく、暗く荒れていて怖いトンネルであったが、今は天井も床もコンクリートで整備され、明るく歩きやすい。中に入るとひんやりして気持ちがよい。我々のおしゃべりが増幅されてウオンウオン響く。３つあるトンネルの１つを抜け、次の「赤坂トンネル」の入りで集合写真を撮る。更にトンネルを２つ抜けると「番太池」に出る。この池は以前は木々に囲まれ沼のようであったが、今はコンクリートで整備されてしまい、昔の面影は無い。

「番太池」からは狭山丘陵の南側の谷津の路を歩く。極めて静かでここが東京とは思えない。やがて路を右に折れ、狭い登り坂を登ると、「真福寺」の参道入口に出る(13:35)。ここにはしだれ桜の名木があり、垂れさがった枝が参道を塞いでいる。桜の咲くころは誠に見事だが、今は若葉になっている。参道を進むと、立派な山門がある。左右の仁王様は無いが、２階部分には鐘が釣ってあるのが、天井にあけられた穴から覗ける。(13:40)

「真福寺」の本堂は大きく、境内には立派な鐘楼があり、いかにも古刹のたたずまいだ。

木陰の涼しい境内で休憩の後、出発(13:45)。　すぐ近くの第３小学校を回り込み、青梅街道に下る。青梅街道を横断して進むと、やがて「新茶」の幟がはためく製茶工場に到着(14:00)。

工場では今まさに新茶の製造中で、あたり一面に新茶の香ばしい香りが漂い、製茶の機械の音が聞こえる。工場の主人に製茶工場の中を見せてもらい、製造工程の説明をしていただいた。

工場から庭に出ると、造ったばかりの「狭山茶」の新茶を入れた茶碗が並んでおり、皆でこれいただく。暑い中を歩いてきたので、新茶の一杯はまた格別で、おかわりもいただく。

お土産に新茶を購入し、工場の前で記念撮影。(14:30)　製茶工場からは東隣にある広い茶畑に出る。一面に緑が広がり目にも良い。ここで皆で両手を挙げて記念撮影。

茶畑からは空堀川の河岸を歩き続け、上北台駅に到着。(15:00)　今日一日、事故もなく、落後者も無く全員無事に完歩！　次回の「玉川上水―２」の再会を楽しみに、ここで一時解散。

今回参加した人の中には大病を患った人も何人かいたが、同窓の皆さんと一日歩き、完歩したことは健康の証しだ。お互いに健康にには気をつけて、また次回も参加し、一つ一つこの健康の証しを記録してゆくことも大切なことと思う。また次回を楽しみに！

多摩モノレールの上北台駅で解散後、１５名ほどは更に２次会場の南街「弐拾四文」まで歩いてしまった。「解散のとき「ああ疲れた・・・」と言っていたのに、長年鍛えた中高年パワーか。あと２年もすれば７０歳になろうとする仲間達、気持ちだけでなく、まだまだ若い身体を持っている。

「弐拾四文」には、ウオーキングに参加した人１８名を含め２０名が参加し、大盛況であった。

次回は、２３年１０月１５日（土）に「玉川上水を巡る―２」だ。　「東大和市駅」に集合し、玉川上水を西に進み、拝島を経て「羽村の堰」へ。途中「田村酒造」に寄り、試飲もする予定だ。